

平成31年度 社会福祉法人 南山城学園 法人本部 事業計画

基本方針	事業計画 (Plan)			
	項目	内容[数値・実施時期等]	ネクストビジョン	実施時期
1 事業 基盤 の 強化	(1)「中期経営計画2025」の策定	現行計画の最終年度にあたり、利用者の高齢化、労働力人口の減少など事業環境の変化を踏まえた、次期の経営計画を策定する。	経営資源の有効活用	年間通じて
	(2)生産性の向上	IoT(物のインターネット)など先進技術を積極的に活用し、業務の効率化を図る。	経営資源の有効活用	年間通じて
	(3)収支管理の仕組みの見直し	報酬請求の適正性チェック、支出管理の仕組みなどを見直し、ガバナンスの強化と効率的経営を目指す。	経営資源の有効活用	年間通じて
2 地域 への 貢献	(1)「切れ目のない就労支援」の推進	障害者・生活困窮者など、制度の垣根を超えた就労支援に取り組む。	創造性の発揮	年間通じて
	(2)福祉教育・啓発の強化	全世代に向けて、障害理解や福祉の仕事の魅力発信など、積極的な福祉教育・啓発を行う。養成校と連携して地域型福祉実習の研究と実践を行う。	創造性の発揮	年間通じて
3 サー ビス の 質 の 向	(1)権利擁護の強化	サービス向上プロジェクトを継続実施し、実地調査と、セルフチェックの集計結果を踏まえた改善活動に取り組む。	暮らしの質の向上	年間通じて
	(2)リスクマネジメントの強化	事故防止や大規模災害対応などテーマ毎の部会を中心に、本部リスクマネジメント委員会を継続実施する。	暮らしの質の向上	年間通じて
	(3)新調理法の推進	新しい嚥下食である凍結含浸食、衛生面を強化したニュークックチル方式の本格導入を進める。	暮らしの質の向上	年間通じて
4 職員 の 質 の 向 上	(1)上位認証の更新	①きょうと福祉人材育成認証制度の上位認証の更新年度にあたるため、更新に万全を期し、人材確保に活用する。	暮らしの質の向上	年間通じて
	(2)人材の確保及び定着	①多様な働き方を促進し、必要な人材を確保する。	暮らしの質の向上	年間通じて
		②事業所内保育所を開設し、産休育休者の円滑な職場復帰を実現する。	経営資源の有効活用	年間通じて